

森山良子、さだまさしさん...復興願う歌声 檜葉で「まほろば塾」 福島民友 2017年03月13日 08時00分



「奇跡のピアノ」の前で共演する森山さん（右）とさださん＝12日午後、檜葉町コミュニティセンター

東日本大震災の犠牲者を悼み、震災と東京電力福島第1原発事故からの復興を願う「福島まほろば塾 in ならは」は12日、檜葉町コミュニティセンターで開かれた。被災地に心を寄せる歌手森山良子さん、シンガー・ソングライターさだまさしさんが共演。心に染み入るような2人の澄んだ歌声に乗せ、いわき市で津波被災から修復を遂げた「奇跡のピアノ」が奏でられ、地震被害が復旧された会場を"再生の響き"で包み込んだ。

「まほろば」は優れた美しいところを指す言葉。奈良薬師寺（奈良市）は日本の美しい心と文化を広めるため「まほろば塾」を全国で開いており、県内では福島、いわき両市に次いで3回目。第1原発から20キロ圏内で念願の初開催となった。

避難指示解除から1年半が過ぎ、双葉郡復興の最前線で帰還を進める檜葉町の歩みを後押ししようと、福島民友新聞社と薬師寺まほろば塾が主催。森山さんは、奈良薬師寺執事の大谷徹柴（てつじょう）氏と親交が深く、さださんと共に出演を快諾した。

県内外から約800人が訪れ、大谷氏の法話や森山さん、さださんとの鼎談（ていだん）に聞き入った。七回忌追悼・復興祈願法要も営まれ、参加者が犠牲者の鎮魂を祈り古里を取り戻すために前を向く力を分かち合った。

法相宗大本山薬師寺、読売新聞東京本社福島支局、福島中央テレビの後援。